

## 第70回日本ハンドボール選手権大会 戦況

|     |                       |     |               |    |            |
|-----|-----------------------|-----|---------------|----|------------|
| 開催日 | 2018 年 12 月 20 日 木 曜日 | 種 別 | 女子の部          |    |            |
| 開催地 | (都道府県名) 大阪府           | 会場名 | 丸善インテックアリーナ大阪 |    |            |
|     | ( 2 ) 回戦              | 準決勝 | 決勝            |    |            |
| スコア | チーム名                  | 得点  | 前 半           | 得点 | チーム名       |
|     | 東海大学                  | 26  | 10 — 19       | 32 | 大阪ラヴィッツ    |
|     |                       |     | 後 半           |    |            |
|     |                       |     | 16 — 13       |    |            |
|     | 第1延長                  |     | 第2延長          |    | 7mスローコンテスト |
|     | —                     |     | —             |    | —          |
|     | —                     |     | —             |    |            |

|    |     |   |
|----|-----|---|
| 戦況 | 見出し | <b>日本リーグ大阪ラヴィッツに東海大が食らいつく</b>   |
|    | 前半  | 先制したのは地元・ラヴィッツ。7番永塚のサイドシュートを皮切りに、堅いディフェンスからの速攻で一気に5-0とリードを奪った。東海大も2番高松、6番齋藤のゲームメイクで流れを作り、巻き返しをはかるが、その差を詰め切れずに苦しい時間帯が続いた。ラヴィッツは17番藤井の投入でさらに得点を重ね、前半19-10でラヴィッツがリードして前半を終了する。                             |
|    | 後半  | 後半に入ると、ラヴィッツの退場の際を突き、東海大は4番眞方の速攻、サイドシュートなどで連続得点。両チームともアグレッシブなディフェンスから速攻へと持ち込みながらも、試合は徐々に東海大ペースになる。<br>しかし、ラヴィッツは前半のリードを保ちつつ、相手の一瞬の隙を見逃さず2番永田、17番藤井のカットインで再び流れを取り戻し、終盤に東海大に4連打を許すものの、32-26でラヴィッツが試合を制した。 |

|          |       |
|----------|-------|
| 戦況報告書作成者 | 久利 謙太 |
|----------|-------|